

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 飛驒古城特別支援学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和7年6月11日(水) 10:00～12:00
- 3 開催場所 飛驒古城特別支援学校 図書室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した。
- 4 参加者

会 長	田中さおり	PTA会長
副会長	中口 守	地域代表(青龍会会長)
委 員	山下 拓也	地域代表(殿町22区区長)
	青木 陽子	地域生活安心支援センター長(欠席)
	奈木 桂子	福祉事業所理事長
	箕輪 一幸	卒業生保護者代表
	上口 淳	古川小学校長
	山腰 邦彦	古城福祉会事務局長
学 校 側	長瀬 朋彦	校長
	道下亜紀子	教頭
	和仁 崇幸	事務長
	島ノ上麻美	小・中学部主事
	小澤 耕	高等部主事
	中田 健太	教務主任
- 5 会議の概要(協議事項)
 - ・委員の委嘱
 - ・会長及び副会長の選出
 - (1) 学校概要と学校運営の基本方針について
 - 意見1: どの児童生徒も笑顔で生き生きと活動している。(複数) 教職員の日々の教材研究が活かされている。
 - 意見2: 校長通信の「学校って、元気が出る」のキーワードがよい。児童生徒も教職員も元気な学校を目指してほしい。
 - 意見3: 行事や授業において、何のためにやるのか目的意識をしっかりとって、大事なものは何なのかを見極めながら行う必要がある。
 - 意見4: 本校の卒業生は仕事を休まない。生活の基本的な部分を学校でしっかり身につけている。
 - (2) 働き方改革の取組みについて
 - 意見1: 民間企業の立場から考えると、残業時間20時間はまだ多い。大事なものは残しつ

つ、無駄なところは削除していく整理整頓が必要である。

意見 2 : 学校は人を相手にする仕事、現場あつての仕事であるため、残業が多くなりやすい。教職員しかできない仕事とそれ以外の仕事を分けて、会計年度任用職員の積極的な活用を図るとよい。余裕ができれば、ぜひ福祉の現場も見てほしい。

意見 3 : 社会的にも働き方改革の見直しの時期にきている。時間を短くすればいいという訳ではない。

意見 4 : 働き方改革の取組みは、小学校も厳しい状況がある。教職員のモチベーションを下げずに、いかに時間や仕事量の調整をしていくかが大切である。自分の子どもと向き合うことも大切なので、家庭の時間も大切にするように教職員には言っている。

意見 5 : いろんなものを削っていた時代から、今は転換期である。変えてしまったもの、削ってしまったものに対しても、本当に変えてよかったのかを検証して、ブラッシュアップしていく必要がある。

意見 6 : 言葉は伝わらなくても、子どもには大人の気持ちがよく伝わっている。教職員も保護者も子どもと接するときに、いかに心豊かにいられるかが大切である。教職員も ON, OFF がしっかりできるように休憩時間などの工夫が必要である。

(3) 今年度のテーマ「つながる！飛驒吉城」について

意見 1 : 児童生徒の実態に合わせた授業が行われていた。地域の人は、本校の児童生徒のことをまだまだ知らない。地域の人が学校や児童生徒のことをもっと知ることができるとよい。

意見 2 : 学校間交流では、実際のことを想定した防災の訓練等も一緒に取り組んでいきたい。小学校の運動会もぜひ見に来てほしい。

(4) 高等部作業製品の価格について

6 会議のまとめ

- ・第 1 回学校運営協議会では、全委員より今年度の学校運営の基本方針と働き方改革の取組みについて承認が得られた。
- ・高等部作業製品の価格について、全委員より適正価格であると承認が得られた。
- ・得られた意見を参考し、今後、学校で実践できることを検討して実践する。また、その結果を第 2 回、第 3 回の学校運営協議会で報告する。